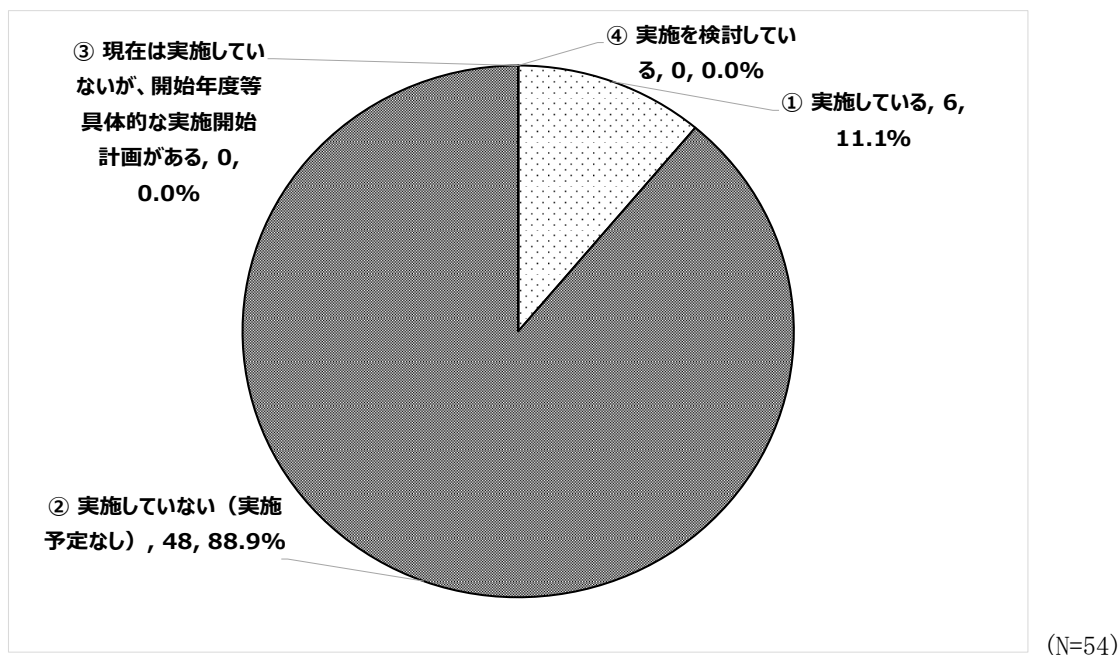


### (3) 市町村教育委員会

問1 貴教育委員会名 省略

問2

貴市町村教育委員会では、外国人児童生徒を対象とした、放課後や休日等の日本語学習支援を実施していますか。



問2で「① 実施している」と回答した教育委員会

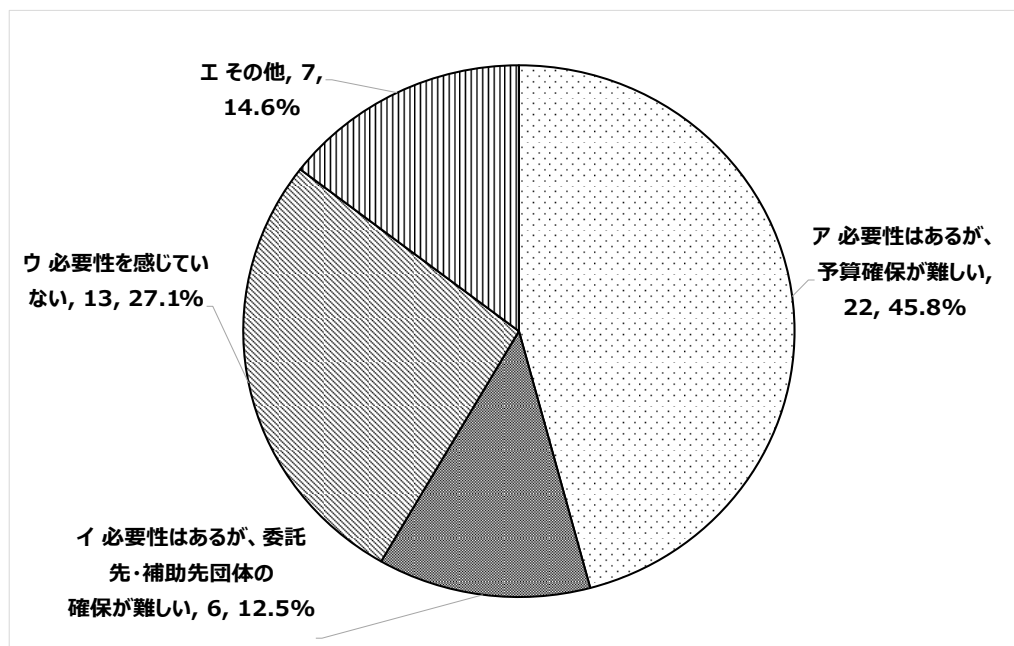
#### ◆主な3事業について、事業名・事業内容

事業名	事業内容
日本語指導が必要な子どもの学習支援協働事業	日本語習得のための系統的な支援を行い、児童生徒の学力や適応力を高め、将来自立した市民となる補助的な支援を行うことを目的とする。
学習支援委託事業（夏休み宿題教室）	町立小中学校に在籍する外国籍の児童生徒を対象に、夏休みの宿題の指導を行う。
外国にルーツを持つ子供に対する就学支援事業	不就園・不就学・不登校の外国にルーツを持つ子供に対して就学・登校・学習支援を行う
プレスクール	小学校就学前の日本語が不十分な外国人幼児等に対し、公立小学校に入学するために必要な生活適応指導、日本語指導を行う。

(n=6) うち無回答2件

問2で「② 実施していない（実施予定なし）」と回答した市町村

◆実施していない（実施予定なし）理由



(n=48) うち複数回答1件、無回答1件

問2で「② 実施していない（実施予定なし）」かつ「エ その他」と回答した教育委員会

◆具体的な理由

国際交流協会が実施しているため。：2件
対象の児童生徒がいないため。：2件
NPO法人が実施しているため。
放課後の日本語学習支援に関しては、首長部局 多文化共生担当課が行っているため。他課が実施している。
予算や人材の確保が難しい。

(n=7)

問3【複数回答】

放課後や休日等の日本語学習支援に関連する事業について、予算の財源と予算額

財源内訳は省略

●予算額

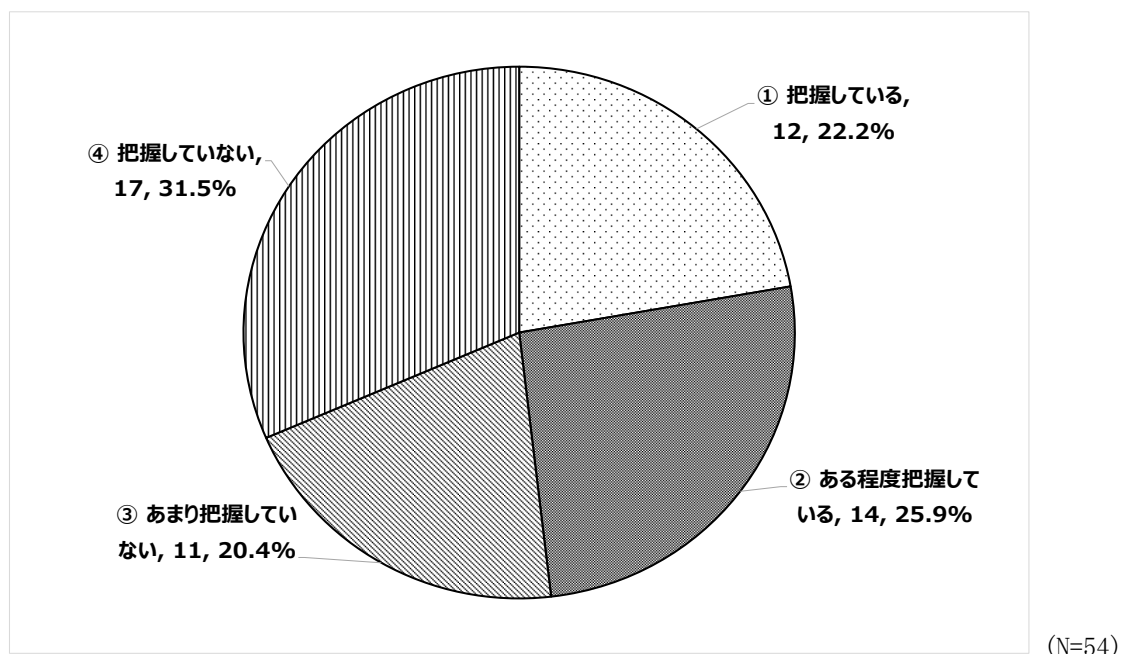
予算額/財源名	① 市町村独自財源	② 国の交付金・補助金	③ 県の補助金
1～1,000千円	1	1	1
1,001～5,000千円	3	0	0
5,001～30,000千円	1	0	0
計(事業数)	5	1	1

(① 市町村独自財源：n=4、②国の交付金・補助金：n=1、県の補助金：n=1)

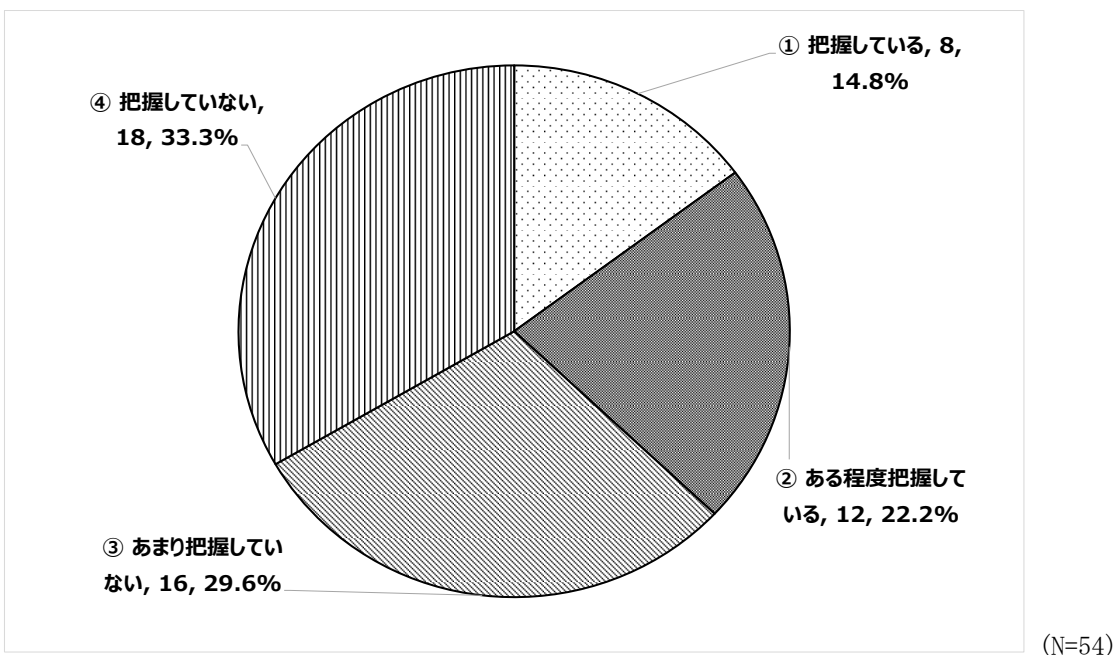
問4【複数回答】

貴教育委員会では、貴市町村内で活動をしている子ども向け地域日本語教室について把握していますか。

(1) 地域日本語教室の存在について

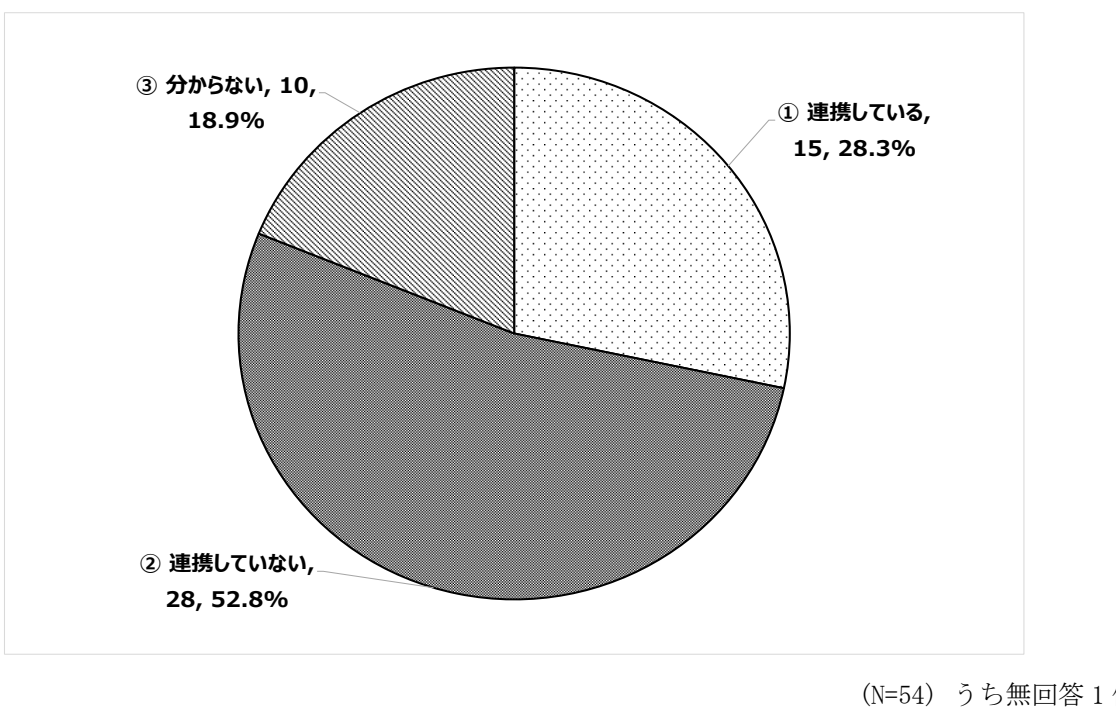


(2) 地域日本語教室の活動内容について



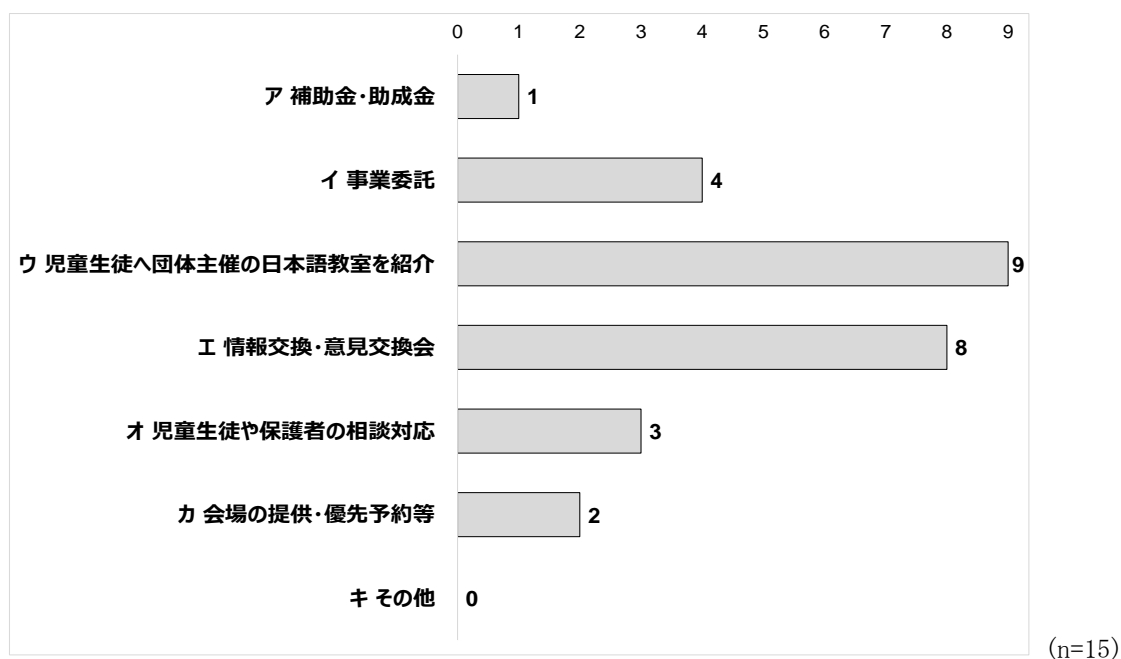
問 5

放課後や休日等の日本語学習支援に関して、連携している団体・機関ならびに連携内容をご回答ください。



問5で「① 連携している」と回答した教育委員会

◆連携の内容



問5で「② 連携していない」と回答した教育委員会

◆連携していない理由

放課後や休日等の日本語学習支援を実施していないため。：6件
連携できる団体を把握していないため。：5件
児童生徒対象の団体がいないため。：2件
対象の児童生徒がいないため。：2件
教育委員会以外が対応しているため。：3件
連携をする機会がなかったため。：2件
予算がない。：2件
日本語指導が必要で、在籍している児童生徒数が多くないため。
人材の確保が難しい。
事業を進めていないため、連携を考えていない。
連携している実績がない。
活動している団体とのつながりがない。
現在の実施状況に特に問題がないため。
教育委員会の中で支援を充実させているため。

(n=28)